

情 報

4 4 千葉県立市川西高等学校

「 情 報 A 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科第1学年1～4組

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 コンピュータや情報通信ネットワークのなどの活用を通して、情報を適切 に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得します。 2 情報を主体的に活用しようとする態度を身につけます。
使用教科書・副教材等	「最新 情報A」 実況出版

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	考 査 範 囲
1 学 期	「情報A」の学習について 1 コンピュータの操作方法 (1)WINDOWS の基本操作 (2)ログオン・ログオフ (3)マウス・キーボード 2 ワードプロソフトの基本操作 (1)IMEキー入力の方法 (2)文章の作成の基本 (3)文章の編集 3 インターネット入門 (1)インターネットとは (2)ブラウザの使い方 (3)電子メール 4 情報化社会への参画 (1)ネットワークのエチケット (2)プログラムと著作権 (3)情報化社会の光と陰	4 5 6 7	「情報A」の学習の意義や内容，学習や評価の方法を理解します。コンピュータ室等の利用方法を理解します。 これから授業で利用するコンピュータの使い方の基本を理解します。 ワードプロソフトの WORD の基本的な使い方を理解します。 この学習によりコンピュータを文書作成の道具として使えるようにします。 余裕があれば表計算ソフトの EXCEL を学習します。 通信ネットワークや電子メールのしくみを知り，Web閲覧や電子メール送受信の基本を理解します。 通信ネットワークやデータベースを使って検索し，必要とする情報を効率的に検索・収集する手段を理解し実践します。 情報を適切に伝える工夫やきまりを理解します。 Webページ共通の表現形式を理解し，情報を効果的に共有する方法を考察します。 情報収集や受信・発信の際に起る問題について理解し，適切な対処方法を考察します。 ネットワークを利用する際のルールとマナー，エチケットや，著作権などの知的財産に関する権利について考察し，実際の情報社会で役立てられる実践力を身につけます。	・ 「情報A」で学習する基本的なスキルは，全教科の学習に関連し，基礎となるものです。	期 末 考 査
【課題・提出物等】 授業で使用したワークシート、作成した図や文章は期限を守って提出して下さい。					
【第1学期の評価方法】 期末考査の成績 報告書・プレゼンテーション資料・ワークシート等の提出物の内容 発表の仕方や内容，学習活動への参加の態度 コンピュータリテラシーの習熟状況 を総合して評価します。					

2 <
--

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・ 「情報」は、他の全教科の基本ともなるべき教科であり、これからの情報化社会を生き抜いていくために必要不可欠な教科です。前向きな態度で授業にのぞみ、積極的に課題にチャレンジしてください。 ・ 「情報A」の評価は、自分の成長に役立つための評価です。報告書やプレゼンテーション資料などの授業での成果物は皆さんの財産になります。常に自己評価を行い、成長の過程を確かめながら学習してください。 ・ 教科書の内容を覚えることも大切ですが、知識のみに偏らず、実習を通じて、問題の発見や解決能力、情報活用能力を高めていき、実社会に役立てられるような実践力を身に付けることが最も大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・ 授業はチャイムと同時に開始しますので、教材・教具を準備し、着席を完了してください。特に実習はコンピュータ室等を利用し、移動がありますので、遅れないように注意してください。 ・ 授業中は説明を確実に聞いてください。特にコンピュータなどの情報機器の操作については、手順通りに行わないと誤動作する場合があります。結果として他の人に迷惑をかける場合があるので十分注意してください。 ・ 授業中に疑問点などがあれば、授業の進行に支障を来さない範囲で、積極的に質問してください。 ・ 提出物は確実に提出してください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」及び「知識・理解」の4つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・ コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持っているか。 ・ 身の回りにあるさまざまな問題の解決を通して、情報を主体的に活用しようと努力しているか。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ワークシート及びポートフォリオ ・ 生徒自己評価及び生徒間相互評価
思考・判断	・ 情報を収集・処理・発信する場合に、方法を工夫したり、目的に応じてその手段や方法を改善したりしているか。 ・ 情報を収集・処理・発信する場合に、情報モラルを考慮しているか。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ワークシート及びポートフォリオ ・ 生徒自己評価及び生徒間相互評価 ・ ディスカッションの発言 ・ 授業の中での簡単な口頭試問
技能・表現	・ コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用しているか。 ・ 目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な技能を習得しているか。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ ワークシート及びポートフォリオ ・ プレゼンテーション（発表） ・ 生徒自己評価及び生徒間相互評価 ・ 実技テストや習熟度の確認
知識・理解	・ 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけているか。 ・ 情報社会における情報技術の役割や影響を理解しているか。	・ 定期考査 ・ 授業の中での簡単な口頭試問

3 担当者からのメッセージ

・ 講義形式、個人学習、グループ学習、ディスカッション、コンピュータ実習、図書館や進路室での調べ学習など、さまざまな形態の学習活動を行います。また、評価は、ペーパーテストのみならず、実習への意欲や態度、プレゼンテーション（発表）、ポートフォリオ（学習履歴をファイリングしたもの）、生徒の自己評価などを総合して評価します。 ・ 1年間の学習の中で、情報に対する基礎的な事項の理解が深まるとともに、情報機器の操作や適切に活用できる力が身につくようになります。
--